

share (シェア)とは… 分かちこと、共有すること。他人のコンテンツの引用・拡散。

シェア生活の中で斬新なアイデアや考え方、活動、将来への志などのコンテンツを互いに刺激・共感し合いそれらを地域内外へ拡散することで魅力あるコミュニティ力を向上させる。



renovation CASE 1

野心高いシェアオフィス

1軒家を複数の会社でシェア。  
 少人数の会社や事業を始めたい若者が活用。  
 異業種の会社と同じフロアで仕事することで互いに意識し刺激し合い、向上心や関りを持つことで若い世代の柔軟な発想が新たな業務提携や事業発展を生むなど地域への活性を生む。

事業や働くことへの  
 将来への希望

アイデア・発想  
 の相互刺激

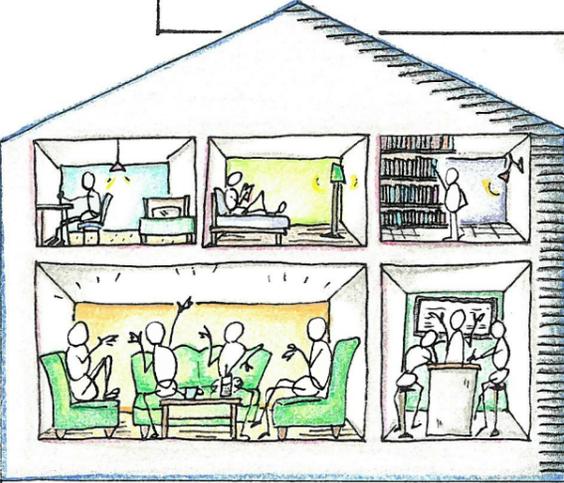
雇用と学びの場

Share

renovation CASE 2

個性人シェアハウス

同趣味、同業、同学科（美大・工学系など）学生限定の特化した住人のシェアハウス。  
 アトリエや共有書庫などの作業部屋を備える。  
 同志が集まり住むことで、コミュニケーションやディスカッション能力の育成やより物事への深い探求心をもつコミュニティを形成。  
 間近でシェアオフィスの躍進を垣間見ること将来の地域への貢献を意識できる。



活動アピール  
 自己アピールの場の  
 提供・活用

チャレンジすることの体験  
 おもしろいと思える経験

働くこと・学ぶことの  
 楽しさへの再認識

Share

renovation CASE 3

ときめくシェア菜園

自然が残る特性を活かす  
 管理パートナーを雇用。  
 管理されていない畑や庭を開放し活用。  
 地域外の一般向けも含めて菜園のレンタル、シェアにて栽培。  
 収穫された野菜、果物、ハーブ等は地元で店舗（カフェ、パティスリー、ベーカリー、料理店等）への仕入れ販売、直売へ活用。

店舗へのイベント  
 地域の交流

地域外も人々との  
 交流・宣伝

Share

renovation CASE 4

心くすぐる個展コミュニティ

地域住民の提案型により地域内外へ情報発信。  
 地域で事業を始めた会社のアピールイベントや製品発表、学生たちの個展、地域住人の個性あふれる趣味の展示、ワークショップ、地域の交流の場として活用。

Model town：鹿児島市小山田町  
 過疎化が進み、今後コミュニティとしての維持が難しいと推測される地域をモデルとして設定。

